

第2回 阿智村学校のあり方検討委員会 小委員会 会議録

○ 会議日時 令和6年7月12日（金）午後4時

○ 会議場所 阿智村中央公民館 会議室

○ 出席者 委員長：岡庭 潤 副委員長：伏木 久始
委 員：増田亜由美 逸見 貴子 佐々木哲志

【教育委員会 事務局】

教育次長：川上 悟 学校教育係：村田 浩一

学校教育専門主事：松澤 徹(全体進行) 川上 清宏 佐々木 豊

英語教育専門員：両角 明浩

(欠席：白澤裕次委員、黒柳紀春教育長)

(リモート参加：代田昭久副委員長)

(遅刻：上條雪絵委員)

1 開会の言葉 (松澤専門主事)

2 教育長挨拶 (川上次長代読)

本日、教育長は三遠南信教育サミット出席のため愛知県蒲郡市に出張しており、あり方検討小委員会を失礼させていただきます。ご承知ください。

さて、6月29日の「阿智村の教育を考える全村フォーラム」では大変お世話になりました。お蔭さまで有意義な時間を持つことができました。村のケーブルテレビでは、7月第4週22日（月）から一週間ほど放映される予定ですのでご覧いただければと存じます。

当日のフォーラムについてでございますが、諮問③「これからの子どもたちに育むべき資質や能力について」では、代田副委員長による基調講演、阿智中学生へのアンケート結果をもとにした考察と、それを受けた分散会において検討をさらに深めることができ、育むべき資質・能力の内容が焦点化されてまいりました。また、諮問①「今後の時代、社会を見据えた学校と地域の関係性について」でも、伏木久始委員の基調講演を踏まえて一定の方向性が見えてまいりました。ありがとうございました。

さらに、諮問②「持続可能な学校のための教育理念や目標、制度等について」でも、伏木委員から教員配置や財政面の課題、学校制度等に言及されるなど、一歩踏み込んだ内容の講演があり、諮問②の今後の検討の確かな指針となったと捉えております。

いずれにしても、今日の委員会を含めた本年度4回の検討委員会では、これらの検討内容を踏まえて、中間まとめに向けた具体的な内容を作成していただきたいと存じます。

本日の小委員会では、阿智村の教育を考える全村フォーラムの振り返りと、基調講演と分散会を踏まえた諮問①②③の今後の進め方、8月23日に実施します阿智村学校のあり方PTA（保護者会）懇談会の持ち方について、また、諮問②に係る学校視察等について見通しを立てていただければ幸いです。

丁寧な検討を尊重しながらも、スケジュールに沿った一定のスピード感を持って協議をお願いしたいと存じます。毎回の会議でその日検討した内容がどこまでまとまったのか、進んだのかを委員の皆さんで確認していただき、その積み重ねで3月の中間まとめに結び着くようにしていただきたいと考えております。

結びになりますが、本日の会議が諮問内容の作成に向けて有意義な時間となりますようお願い申し上げ、教育委員会からの挨拶とさせていただきます。

3 委員長挨拶

お忙しい中、またお足元の悪い中、お集まりいただきましてありがとうございます。委員会も、全体会それから小委員会を積み重ねてまいりまして、はや6月が過ぎておりますので、今後また議論を積み重ねながら、皆さんのご意見をお聞きしてやっていきたいと思っております。よろしくお願いします。

4 協議

(1) 全村フォーラム反省

①松澤専門主事

（あり方検討委員会小委員会資料の4ページをもとに説明）

6月29日の阿智村の教育を考える全村フォーラムでは、阿智村の子どもたちに育みたい力と課題ということをテーマに、76名の方に参加いただき実施いたしました。委員には分散会の世話係でお世話になりました。

伏木先生、代田先生からの基調講演、それを受けて分散会で皆さんに協議をしていただきました。それぞれ真剣に意見交換することができたと考えております。分散会の様子は、当日zoomで配信をしており、録画も見られますのでQRコードから入って見ていただければと思います。ケーブルテレビでは7月22日の週から放送していただけますので、ご覧いただければと思います。5ページに新聞記事を載せてありますのでよろしくお願いします。

②A委員

教育関係者もたくさんいらっしゃったので、良かったとは思いますが、参加者に保育士さんや学校の先生が多かったと思いました。あり方検討委員以

外の子育てをしている保護者は大体どのくらい来ていましたか。

③松澤専門主事

当日の参加者は全体で 76 名、分散会が 58 人です。委員を除いて子育てをしている方は 8 名です。少ないようにも思いますが、ご承知の通り中学生が 6 名参加してくれたのはありがたかったと思っています。実はアンケートを取った高校生にも参加を呼びかけましたが、ちょうどその日に文化祭と重なっているところが多くありまして、結局参加していただけなかったのが残念だったと思います。ただ、代田先生の扱っていただいたアンケートで、今年の中学校の全校生徒約 150 名と去年卒業した中学 3 年生 50 名がアンケートという形ではありましたが、参加していただいたことは大きな収穫だったとも思っています。

④A 委員

8 人くらいとのことですが、PTA 会長とかそういう役職の方じゃなくて、本当に普通に子育ての PTA 系の方は誰かいらっしゃっていたのでしょうか。

⑤松澤専門主事

会長の方は特にいませんでした。案内通知は家庭数で皆さんに配布しておりますので、参加しているかと思います。

⑥A 委員

もう 1 つお願いします。参加者が言葉を発する機会は、この 12 項目から最優先と思う 3 つを選ぶところで、発言する機会がなかったのですが、参加者がどう考えてこの会に出ているとか、どういう気持ちを持っているか、学校のあり方についてどう考えているかということに参加者に聞くということはないのですよね。その QR コードとかでフォーラムのアンケートを取るとか、そういうのは特になのでしょうか。

⑦松澤専門主事

参加者へのアンケートとのことですが、あり方検討委員会は村教育委員会が委託した諮問に対する答申を検討していただくために設置された委員会です。今回の全村フォーラムについても、その 1 回目を開催させていただきました。全村フォーラムの開催の目的については、前回の委員会でも確認させていただいたところです。今回、全村フォーラムでは、諮問の 3、これからの子どもたちに育むべき資質や能力について、それから「今後の時代、社会を見据えた学校と地域の関係性について」を主な協議題として扱っています。

この諮問の1と3について、まず伏木、代田両副委員長さんより基調講演を行い、そこで得た知識や情報を参考にして分散会で参加者が意見を発言されました。そもそも、分散会が1時間程度の中で、参加者58名全員が時間内に発言をするっていうことは不可能ですし、分散会形式を取ったことで参加者の人が自分の意見を発表できたと考えております。

アンケートでありますけれども、参加者の意見は基本的には当日の話し合いに反映されていますので、あえて取りませんでした。この場でご感想をいただければありがたいと考えております。

⑧A委員

6月29日については大丈夫です。他にも聞きたいことがありますけど。

⑨委員長

それでは、続けてください。

⑩A委員

これから続ける中で8月23日の話もあるのですが、それを今のこの時間に言っていていいですか。

⑪委員長

それでは、この件についてはこういうことでお願いします。全村フォーラムの分散会で集約をして、諮問の3項目の方に繋がればということでございますので、ご意見をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

⑫松澤専門主事

資料の6ページから、先ほどから話題になった分散会でご意見をいただいて用紙に残していただいたものを私共の資料にさせていただきました。

12の項目について、大事だと思う所にシールを貼っていただきました。その集約をしてグラフにしたものが6ページです。少なくともこのようなことを、当日参加した方は大事にしたいという声が多かったと思います。

ただし、それぞれ見ていただいてわかるように、どれも大事だになっていうようなことで、多くのご意見をいただいております。全てではありませんが、それぞれの項目でご意見が多かったものから特徴的なものを集約してあります。諮問の3に繋がるところだと思いますので、委員の方にも感想やご意見をいただいて、また代田先生のアンケートも合わせて中間のまとめに活かしていただければと考えております。

⑬委員長

それでは、今説明のありました 6 ページを元に、表の 12 項目については、いわゆる学習指導要領とかに載っていることを基本にしているのだと理解しています。それらも踏まえて今後のこの答申につなげるようなご意見を願ひしたいと思います。

⑭A委員

まさにさっき言ったことです。自分の意見を言うところはなかったと聞きました。12 項目の中で優先する 3 つの意見しか出せなかった。自分がもっと大事に思っていることがあったとしても、しかもアンケートもない状態だから、自分のこの気持ちとかを、それがいい悪いじゃなくて、どういう形で発信したいのか、委員の人たちに伝えられるのかということをするごく不安がっていました。「どうしてランクをつけるの」とも聞かれました。

やはり保護者はとにかくいなかったんで、当事者の子どもももちろんけど、その家庭の 1 番近いところで子どもを支えている各家庭の保護者がその話も聞けてないし、これから色々発信してもらおうのももちろんいいのですが、どういう気持ちか聞いてない。無関心なのか、忙しくて出席できなかったのか。私が誘った時も忙しいから（出られない）と言われたこともあったので、そういう人だけ我慢するのはなかなか理解っていうか、わからないので。結局さっきの話だけど、やはりアンケートをとって、みんながどう思っているのかを聞けたらいいと思います。

(2) 分散会意見集約について

①A委員

8 月 23 日は保護者懇談会の通知が出されていますが、保護者のために懇談会を開いてくれることはありがたいです。ですから、話したい人や意見を言いたい人がいれば、そこで話してくれればいいとは思っています。

また、自分も 3 つ選びましたが、12 項目はどれも大事だったので、皆さんの意見を見てもゼロの項目がありませんでした。それをその代田さんが話された「子どもたちに育むべき資質や能力」をどうやって今後の学校の教育とかあり方として考えていくのかというのはどれも大事だと思ったので、難しいなと正直思います。

②伏木副委員長

子どもたちの声を大事にしようということが趣旨で、例えば、保育園ですが、今、阿智村教育委員会にとっては大変なことですけど、保育園で意見を聞く会を 6 回やることは村民にはものすごくいいメッセージになると思ひ

ます。小中学校の親御さんがおじいちゃん、おばあちゃん誘ってそこにどうぞ来てくださいというメッセージが流れて、A委員から出たように、発言しにくい人が来て自分の思いを言える場を設け、これを集約する。とても大変だけれど、意見を受け止めるというその姿勢が大事だのご提案申し上げます。もちろんそこには子どもたちも参加します。委員会の年間計画もあると思いますが、例えば、阿智高校の地域のことを考える地域政策コースとタイアップして、次の世代を担う高校生にこの問題を一緒に考え、意見を言ってもらう場はできないかと思います。

③松澤専門主事

保育園の保護者の意見を聞くことについては、8月23日に行う学校のあり方PTA(保護者)懇談会でできると考えています。

4月に小学校は全部回って設定しました。その後の経過や今おっしゃっているような若い世代、子育て世代の方の意見をお聞きするために、6園全部回るのは時間的にも難しかったので、公民館を会場にして全ての小中から保育園の保護者の方にご案内をして話を聞く会を計画しております。後からお話しようと思っていましたが、資料の12ページにその計画を載せてあります。

高校生の参加については、今回はできませんでした。今後、できるかどうか検討させていただきたいと思います。

④委員長

住民が参加するハードルを下げるという意味では、伏木先生が言われたように、地区ごとで意見を出しやすく意見が拾いやすいものになるのかと思いますし、この案内にもあるので、話を出していただけたと思います。

阿智高校についてはどうでしょうか。

⑤伏木副委員長

高校生にとってはとてもいい社会貢献に関わることなので、オファーしてダメだったらダメでいいじゃないですか。委員会として こういうことを一緒に考えたいというメッセージを送ることは大切だと思います。

そして、6園すべて行うことが難しいということであれば、例えば清内路とか浪合で代表して行うことはできないかと思います。

私は保育園11か所でやりました。やっぱり保育園でやると、親がみんな集まるのでメッセージにもなりました。本当に大事に意見を聞いてくれる姿勢があるということが伝わり、来ていただきやすかったということはあったと思います。もちろん、この忙しい最中に4回行ってくれとは言にくいので、せめて何回かに分けて行うのはどうかと思います。

23日の会については、私は伺ってなかったのでわかりません。PTA って書いてあるなら先生たちが来なきゃいけないですよ。親だったら、保護者って書いて、PTA って書いてあったから、校長先生に頼んで先生たちに知ってもらわないといけないと思います。

⑥B委員

私たち自身でも語り合う機会が少ないので、言葉でアウトプットしていかないといけないと思います。

高校生に限らず、当社のスタッフを含めた若い方々がこういう話し合いに参加するのはいいことだと思います。

また、こちらのメッセージを発信するのは非常に重要だと思います。メッセージの発信をやってないと、「上の方で決まってくるんだろう」「ついていくしかしょうがない」「言ってもどうせ聞かないでしょ」「勝手に決めちゃうんでしょ、どうせ」という意見はよく聞きます。そういう印象を持たれている住民の方が多いと感じます。

⑦A委員

それぞれの場所に行って話すということは、自分たちの意見を委員が聞く気持ちがあるのだという1つのパフォーマンスにもなると思います。やはり私たちが自分たちも話したり聞いたりすることはすごく大事だと思うので、協力できることはして下さると思います。

⑧B委員

自分の考えをきちんと言ったり、何度も書き換え上書きしたりしながら、私の言葉で伝えていきたいですが、できないと言い訳になってしまう。

⑨A委員

その大きな組織で見ることになっていってしまうのは嫌ですね。会話していけることを期待しています。

⑩委員長

そうだとすると、委員会の立場や指示はどのように考えていったらいいのでしょうか。発信する側に積極的に関わって、例えばそういう説明会があったとしたら、委員が出席していくということでしょうか。

⑪伏木副委員長

諮問の内容を受けて、共通のマニュアルになるような一番いいものを出し

て、会場では委員が代わって説明するくらいの方法ではどうかと思います。委員の中にもいろいろな考えがあるのでいいと思うのです。検討委員会では、このように検討してきていますと伝え、参加者から自由に意見をいただき吸収する。課題を発信するというよりも、吸収して帰ってきてここに帰ってきてもらう、そんなイメージです。公聴会を何回か開いて、その担当者を検討委員の皆さんが分担してやっていただいて、役場の皆さんは無理のない範囲でまとめていく。全部の会に出たら大変だと言ってやらないと、我々も様々な意見を聞く機会がないです。

⑫C委員

自分も多くの人から聞いたわけではないですが、「全村フォーラムもやって終わりなんでしょ」のような声は聞きました。今皆さんがおっしゃったように、関わっている保護者の方々やみんなの意見を聞くのは大事だと思います。

自分の中でも、地元で生まれ育ってきている人も多いので、その子たちが実際育って、一旦外に出てから村に帰ってみて感じていることがあったら聞いてみたいです。

教育委員会は大変だけれども、できるだけ意見を聞くことは必要だと思います。

⑬委員長

そういう意見をこちらでも集約しそれを踏まえて、村民の皆さんの思いを聞かせていただくというスタンスは、大変だと思いますが、ぜひ何とかやってみたいです。(意見を聞きに)行かないと、多分みんなそういうのが悶々としたままだと思うので、話を聞いて、そういう意見が10パーセントしかなくても聞いて、こういう結果を出しましたという地ならしをしっかりとしないと後で崩れることはよく経験していますので、それは避けたいと思います。皆さん多分1番この関心の高い項目ではあると思います。皆さんの意見は大体そういう意見なので、その方向性で考えていたということにさせていただきます。

⑭松澤専門主事

いくつかの場所でそういう意見を聞くような機会を設けて、今の状況をお話ししたり、集まってくださった方々の思いを、基本的には諮問の1、2、3に関わる意見を聞いてきたりしていただいて、次回以降の委員会の協議に反映していただくのが良いかと思います。

⑮委員長

6 保育所全部っていうと多分スケジュール的に大変になるので、パイロット的にどこかの保育所を1つ抽出して1度やってみて、そうは言っても誰も来なかったという状況もあるかもしれないので、みんな参加して来てくれて、しかも、おじいちゃん、おばあちゃん、子育てが終わった世代とか子育て中の世代、これから子育てする世代が来て、しっかりした意見交換ができる会になるのかどうかっていうのを試していただくこともありなのかと思います。最初から(すべての保育所でやると)固めちゃうとやる方も大変です。また教育長とも相談させていただきたいと思います。

⑯B委員

私としては、アンケート用紙を出して、参加はしていないが意見を言えるという人もいます。

⑰伏木副委員長

全村フォーラムに出ていない人がアンケートをもらっても、内容について答えるのは答えられないところがあります。アンケートをとる時には、今はこういう議論がされ審議されているのだけれどどう思いますか、というような具体的で答えやすいものでないと難しいかもしれません。

⑱B委員

今のあり方検討委員会でどういう方向で会議が行われ、課題がどうなっているか、多分、中学の説明会には報告が2回くらいありました。もちろん、その参加している親と参加していない親がありましたけれども、プリントは全部もらっているわけです。村としての姿勢は、情報として出されています。

⑲A委員

同じものが説明されました。小学校は結構です。わかりました。情報は出されていますが、気にしてない人も多いと思います。このフォーラムについてもプリントで全員に配られています、参加する・しないの区別なく内容を知らせて、ここ知っているか知っていないか、ご意見があればいただきたいというアンケートの内容でもいいかと思います。

⑳伏木副委員長

一般的にはその方式のアンケートの回収率は3割ぐらいです。教育委員会が仕事上得られるものを考えた時に、どのタイミングが1番いいアンケートのタイミングかを私なりに考えると、全村フォーラムの時にやれば、それは

1つの意味があると思います。しかし、それはもう終わっているのです、やるとすればその録画映像が7月22日からケーブルテレビで流れますので、それを見た上で資料と付き合わせて答えてもらうこともできると思います。

私は、可能であれば、地域ごとに意見を聞くかヒアリングの会があって、そこで意見を収集するのが一番いろんな声が出やすい、集まりやすいだろうなと思うのです。アンケートは、一般の人にとっては届きにくいので、対面で顔の見える会の後でならできると思います。

②1 松澤専門主事

現在の状況や経過については、8月21日の自治会連絡協議会で報告させていただいたり、皆さんとの懇談会でご意見をいただいたりということは考えていたところです。できれば、8月23日に聞いていただいて、それをまた次の委員会に活かせればと考えていましたし、またそれがそれで終わりではないので、今回は2月の中間まとめができた辺りで、このような教育をしたらいいと、場合によってはアンケートしたりするつもりでは思っていたのですが。アンケートについては、その内容や項目について精査、検討しないととれない、またとってもあまり意味がないとは思っています。また委員にご相談しながら進めていきたいと思っています。

②2 A委員

8月23日のPTA保護者会懇談会の開催については、子どもが学校から案内を持ってきて初めて知りました。検討委員会には事前に知らせないのですか。

②3 松澤専門主事

教育委員会では4月に第1回目の説明会を実施しました。その会の第2回目という意味合いで、経過の報告やご意見をお聞きしようと考えています。

ですから、あり方検討委員会としてではなく教育委員会として、PTAの連合会や保護者会へ声をかけて報告、意見集約をさせていただくということで設けた会ですので、申し訳ありませんが事前には言ってありません。

②4 A委員

私は子どもからもらったので知ることができましたが、あり方検討委員の中には子どもがいない方たちがたくさんいます。この会について聞いてくる人もいるので、知らないとなると説明ができなくなってしまいます。各学校で説明会をした時も、その通知を出す前に、私たち委員に知らせてくださるといいと思います。テトルとかで知らせていただいて、参加できる人はしてほしいということをお願いしたいと思います。

また、開催時刻が平日午後 6 時なんですけど、これはどういう基準で決めましたか。

②⑤松澤専門主事

時間帯や日にちのことですが、例えば 7 時開始の設定だと帰りが遅くなってしまうことが考えられるということで、夕食前に来てもらった方が、次の日のことを考えて、差し障りがないかなと考えました。会議の開始時刻が 7 時でなくて、6 時ぐらいに設定する傾向もあるように思います。6 時では早いのではないかというご指摘だったと思いますけれども、今回のところは、定期的な会議はありませんので、時間の都合をつけていただければありがたいと思います。

そういう声も聞きますので、開催日程については、今後このような会議をする時には、検討委員会に事前に提案することを視野に入れて検討していきたいと思います。今回のところは、通知も出してしまいましたので、これでお願ひしたいところです。

②⑥A 委員

それはわかりました。承知しましたけれど、6 時の開始時刻は、お父さんは会社から定時で帰ってきてその会場に行けば行けるかもしれないけれど、子どもにご飯を食べさせたり、子どもの送迎をしていたりする保護者に対してはあまりにも難しい時間じゃないかと思います。実際、私も出られません。保護者もどれくらい来るかわからないですけど、おそらくそんなに来られないのではないか、という感想です。

この会に参加する人には、会の内容についての意見や開催の時間帯についてのアンケートを取れば、次回の日時、やり方についての参考になると思うので、ぜひアンケートをとってくださるとありがたいなと思います。経過説明だけに 9 割の時間を使って、2 番の学校のあり方についての時間をものすごく短くされちゃうと、やっぱり言いたいことも言えずに、それこそ不完全燃焼で帰ってしまう方もいらっしゃると思うので、ぜひ、時間配分を考えていただきたいと思います。

②⑦松澤専門主事

懇談会の内容は資料 12 ページに書いてあるように、4 月の各学校での説明会以降の検討委員会の進捗状況や経過報告と保護者の皆さんとの意見交換になると思います。この内容については、検討委員会で協議していただいている諮問の 1～3 に関わるところで、基本的には保護者の皆さんの思いをできるだけお聞きする場としたいと思います。

ただ、6時から2時間程度の会で時間の制約もありますので、お一人の発言時間を限らせていただく場合もあるかと思います。また、内容等についても、諮問内容にかかわるようなことは委員会でも協議しておりますので、教育委員会としての意見は差し控えて、ご意見をお聞きするだけの場合も出てくるのではないかと思います。

⑳A委員

参加者の中には、自分の思い、例えばですけど、統廃合とか複式学級の具体的な話をされる方もいると予想されます。その中で、説明する側は、それは諮問と違うので、その意見をやめてもらうのか、それともちゃんとその話を聞いて、返答はできないので持ち帰りますというのか。持ち帰ったことをあり方検討委員会にきちんと情報共有をして、協議できると思っていいのですね。

㉑松澤専門主事

もちろん、即答できないところもあるでしょうし、基本的にはご意見をお聞きする会かと思います。

㉒委員長

ここまでの集約も含めてですが、諮問が3つありまして、原案をどうしてもまとめていかなければなりませんので、中間まとめをどうしたらいいかと思っています。この前フォーラムで発表していただきました上條先生が良い発表をしていただいたので、上條先生にまずお願いをして、委員会で検討していく形にしたいと思います。まとめ方についてご意見いただけませんか。

㉓A委員

代田さんがやってくれた「中学生アンケート調査結果」は1つのデータとして大変参考になっていると思います。しかし、例えばその資料11ページの『中学で身についた力は？』の「基礎的な知識や機能（基礎学力）」に当てはまるという中学生の回答が1番多くついているのですが、保護者から見ると、(そういう力は)ついてないでしょと思ってしまいます。客観的に教師や保護者が見て、身につけていると思うかどうかということだと思うのです。

ですから、中学生の回答だけを見てそれだけを信じてというより、私としては、もうちょっと先生方から見て子どもたちには何が不足していて何が本当に身につけているかということを本当に聞いてみたいと思うので、やっぱりもうちょっとデータがないと納得できないと思いますがいかがでしょうか。

③②委員長

言い方が悪いですが、叩き台がないとどうしても文章にまとめられないので、それをまずは作っていただかないと、いつまで話を聞いていても仕方がないように思います。

とにかく教育については我々の仕事ではないので、例えば資質・能力は、学校教育法が基になっているのですが、定義があつたりとかして、我々の考える資質・能力とは違うことを言っていたりするので、その辺りはある程度全て踏まえた中でのたたき台をまず作っていただいて、それについて我々がそれをどう持っていくかを検討していくのが1番スピード感があるのかなと思うのですが。

③③B委員

いつまでに何をしていくのでしょうか。

③④委員長

これから来年の3月までに中間まとめを出して、それから1年かけて答申を出します。答申に基づいて、教育委員会が学校のこれからの運営について、それを尊重しながら運用していくということなので、3月までの間に話し合いが設けられることができるというのが大事かと思います。

③⑤B委員

現状に対して、私たちや村民が思っている課題を絞り込む必要があると思います。まず、その課題にどう対処するのか考え方を決めて、3月に答申を出すのは私たち委員会なのか教育委員会なのかも知っておきたいです。やはり、私とすると自分の会社でもそうですが、会社の中では時間がかかったとしてもロスがあったとしても、とにかく話を聞いた上で、その中から答えを出していきます。答申していくべき人たち、この委員会自体もそれぞれ考えを持っていらっしゃると思います。関わった以上はもう少し自分たちの考えを、提案していくべきだと思います。

③⑥委員長

やはり、自分がその役割にならないと分からないことがあります。将来的にそれは大事だと思いますし、やはり時間はある程度それにつぎ込まないといけないと思います。

③⑦伏木副委員長

この諮問内容の1、2、3のうち、1、2は、阿智の具体的な状況に応じて

考えなければならないことがあると思います。3番目は、アイディアを出せば良いという話ではないという気がしたんですね。

教育委員会の方から フォーラム前に出された 12 の項目も、委員会が考えたわけじゃなくて、国の学習指導要領や様々な審議会の答申を整理して下さって出てきたことで共通バージョンです。それをこの間の分散会で、皆さんのやり方が良かったかどうかは別として、4番、5番、10番がトップスリーに上がってきたわけです。やり方としては、そのフォーラムの参加者の声を聞いて、住民の中からこの3つあたりが特に強調された形で、委員会として文章化して教育委員会に答申するのは形としては妥当だと思います。

答申をまともに受けるかどうかは教育委員会の判断なので、検討委員会の答申を受けてそのまま鵜呑みにする委員会もあるかもしれないけれど、通常は教育長、行政としての考え方があって、その答申を8割方入れるとか100パーセント入れるとか判断して最終的に決めていく。我々は、理想論だろうがなんだろうが、この検討委員会でいくらお金を使うか関係なく、我々の考えとして、教育委員会がたまたま全村フォーラムをやっていただいたわけだけど、手続きとしては、この諮問3については、住民の意見を聞いて資質・能力を決め出すっていうのは無理があるかなと思います。

学校の現状とか、10年後、20年後、30年後に抱える日本の教育の問題とかを住民の方々に理解していただかないで、自分の体験からこうだとか言われても、未来を生きる子どもに責任が持てるのかということ、ちょっと問題だと思います。繰り返しになりますが、諮問3については、手続きとしては、この強めた表現の文章を岡庭委員長を中心に小委員会提案を作って全体の検討委員会に提案し、ご意見があればそこを修正ということだろう。

③⑧委員長

伏木先生のおっしゃるとおりだと思います。資質・能力とか協働的な学びとかを考え出すと、教育課程を学ばなければいけなくなり、まずはそれをやらなくても我々がそこに参加できる素材を作る必要があると思いますので、その点でエキスパートとしてD委員に一旦作ってもらって聞く機会を作りたいと思います。

諮問1と2は地域との関わりが出てくるので、もう少し違った検討が必要かと思います。

もう1つ、A委員の意見の中で少し違う発言があった。聞く期間があまりにも長くなると伏木先生が言っていたような課題が考えられると思います。地域ごとにヒアリングをするスタンス、こちらが聞くスタンスがありますという姿勢はとにかく大事にしながら進めていきたいということでしょうか。とりあえず色々とこれからの教育について勉強してきましょう。

③⑨ B委員

P T Aの懇談会は、もっと小グループでやっていけたらと思います。少しずつ私たちの身の丈に合った会にしていけたら良いと思います。

④⑩ A委員

まずは、1つ1つ自分たちの方向性が決まった状態で話を聞きながら、自分たち自身も1つ1つステップアップして考えていかないとまとまらないので、自分たちが探していたものが得られることを想像していけたらいいと思います。

本委員会で意見を言いたくても、小委員会で決めたことを下ろしてきたことなので何も意見を言えないということがあると思います。ですから、事前に小委員会の議事録を郵送とかで届けられれば確認ができ、準備する時間が持てると思います。

また、私たち自身も住民の声をきちんと聞く中で勉強をしていかないと、村の色々な立場の人たちが何を感じているのか、本当に自分の狭いコミュニティの中では知ることができないと感じています。

④⑪ 伏木副委員長

事務局にですが郵送代がかかりますが、A委員のおっしゃる通り委員会のメンバーに小委員会で決定したり議論されたりした内容を配布する、メールでいい方はメールにする、そうした努力をしませんか。

④⑫ 松澤専門主事

第1回目小委員会の記録は委員にお渡ししました。そして、今日の資料は見ただけのようにお送りしようと思います。メールは登録がうまくいかない方が多いので、結局、郵送の方が確実だと思います。今日の資料についてもお送りさせていただいて、今日決まったことも伝えなきゃいけないと思っています。

④⑬ 委員長

それでは、私の判断ですが、諮問の3についてはD委員に原案を作ってもらいますので、よろしいですか。(異議なし)

それではお願いします。次に、諮問に1と2ですけれども、これについての説明をよろしくお願いします。

(3) 諮問内容について、委員の意見集約について

① 松澤専門主事（委員の意見集約をした資料を基に、提案・説明）

諮問の 1 と 2 に関わって、第 2 回委員会後に委員から出していただいた意見を集約したものです。

諮問 1 に関わって、学校と地域との関係性についてのお考えやご意見と、諮問 2、3 についてと、大きく 2 つに分けてまとめてあります。この後、事務局の方で作りましたので、ここで キーワードとなるようなものを並べたり、また、ご意見をいただいているものもありますので、これまでの回答みたいなところも入れて、改めて次回の委員会の時に用意をさせていただきます。

それぞれの情報があがってきていますので、この辺りのところも深めていただいて、中間のまとめに活かしていただければと思っております。

②委員長

注) 下線部は記録者が補足追加したものです

資料としてまとめてもらって、読ませていただいてよかったなと思っています。例えば、A 委員の意見で、保護者と話す中で、「あの少子化の数字を見て統合だなどと思う人が多いと感じた」とか、「今、ちゃんとアンケートなどで意見を聞かないと（中略）答申が『どうせ住民の声も聞かず一部の人たちが勝手に決めたことでしょ』と言われかねない。（中略）不信感につながる危機感をとても強く感じます」などのように、保護者の意見をよく聞いておられるし、そういう発言ももっとしたかったのだろうな、そういう発言をするべきだと思っていた、ということがよくわかりました。

それから、次のページの D 委員の意見も、わかりやすく説明していただける方がたくさんいるのがよくわかったので、良かったと思っています。

これを元にして、備考欄にキーワードをプロットしていった、次の答申に繋げていくという手法がいいのではないかと思います。その辺りの手法についてはいかがですか。様々な意見がありますが、これらを集約するという作業も大事だと思うのですが。

③伏木副委員長

研究室でやっている方法ですが、いくつか項目を立てて、意見のある子どもに聞く方法です。思いついたことが書き込めるようになっていて、すごく活発になっていました。

この村で、すべての皆さんがオンラインでやれるとは思えませんが、せめてそれと同じ仕組みは作っておいたらどうかと思います。携帯からでもアクセスしてサイトの中で書いていただける、それを読みながらどんどん意見が出されるというものです。クラウド上で見えるものもあると、オンライン、オフラインで、どこかで集まった時も自分の意見を整理しやすかったり、いろいろな人の声を事前に聞いて、世の中そうなんだと思えたりする。

全国学力学習状況テストが 2027 年からオンラインでやることがもう決ま

ったので、学校はもう全部やらなければいけない時代になっているんです。阿智村がしょうがしまいが、そういう環境の中で役場も一緒になって考えなければいけない時代なので、中学生や高校生が家庭に戻って、こういうものをおじいちゃんおばあちゃんに教えながら、一緒に考えていくみたいなことも将来的には必要だと思う。

ここに出していただいた声を多くの人が見られる今、簡単にクラウド上でできるので、この方向で考えたらいいのではないかと思いました。確かにこの意見は皆さんに見てもらいたい、というように本当に自分の思いが出てくると思いますので。

④A委員

他の人はただ書き込んでいるだけなのですね。いろいろなやり方があると思います。名前を書くと責任ある声しか載らない、名前なしだとネット上はいろんなことを言うという問題もありますが。

⑤伏木副委員長

目的に応じて実名も匿名もどっちでも選択式で説明に書いてくれると、あの人の意見は私に近いと思って、その人とアクセスして話してみたいということもできるので、できれば名前が入った方が良いとは思っています。阿智村も同じ閉じられた村なので望ましいけれど、名前が出るなら本音を書けないというタイプの人も絶対おられるので、どっちがいいか。

⑥A委員

検討委員の人たちも住民のことを少しは思ってくれるんだ、聞く気があるんだ、ということを知ってもらえることも大切だと思います。

⑦伏木副委員長

カテゴリーで答えてもらうのもいいかもしれませんね。委員、住民、保護者、子ども（小、中、高）など。

⑧委員長

B委員の言われたように、言葉をブラッシュアップしていくというのは、自分でブラッシュアップするのもあるけれど、人が集まってきてブラッシュアップしてもらうことにも繋がると思っています。そんな方向でいいですか。

⑨B委員

より良い声を聞くことは大切だと思います。QRコードやスマホでやる方法

はどうでしょうか。

⑩伏木副委員長

パドレットだと意見が残っているので付け加えていくこともできますね。

⑪川上専門主事

できます。出された意見がそのまま残って自分の意見も加えられるから、この方がどんな意見が出ているのかを見ながら意見を出せると思います。

ただ、意見が多いと非常に見にくいものになりそうです。だから、どこかでは制限をしなければいけない。制限しようと思えばできます。

名前をどうするか。匿名でも大丈夫だとしておくのか、ある程度名前を出せる人は出してくれるとか、カテゴリーで表記をするというような、いくつかの条件を整えた上で意見を記入してもらいたいと思います。タブレットみたいなクラウドのものを知っている人はいいですが、分からない人には、これがどう扱われるか、こう書けばみんなが誰でも見られるという機能の説明をしながら取らないといけないと思います。

⑫委員長

やってみましょうか。

⑬伏木副委員長

IC リテラシーではないですけど、次の委員会でいいと思います。

⑭委員長

本当に抵抗なくできてしまう人もいますが、こう決められたら困ってしまう委員もいるかもしれません。一方で、将来のことを考えると、これをきっかけに意見が交流できるサイトは参加するハードルを下げられます。

⑮A委員

会場に集まることが難しい人は、そういう方法で意見を発信してもいいし、電話してくれる人がいるなら、それはそれでいいと思います。いろいろな形で意見を発信してくださるといいですね。

⑯伏木副委員長

中学生とか高校生だったら、その会議の中に入って、そのまま打ち込んでタブレットを通して参加できる。そうなるといいかもしれませんね。

⑰委員長

これについてはどうですか。

⑱松澤専門主事

今回の委員会で、パドレットの活用についてポイントが分かるようにして、委員の皆さんにはそこで初めて考えを出すということにならないようにしていきたいと思います。

それを広げて、住民の方にも参加いただくようにするかどうかについては検討していきたいと思います。

⑲委員長

中間まとめについて情報をとらせていただきたいと思います。

私も経験上、電話とかだと時間取られてしまうので、できればインターネット上で、どんどん意見がブラッシュアップされていけばいいものができると思っております。よろしくお願いします。

諮問 1 の内容も出ましたが、諮問 1 についてはどうでしょう。

⑳松澤専門主事

地域との関係については、本日の会に E 委員が急遽来れなくなってお休みですが、E 委員のところで取りまとめて提案していただいて、委員会に出してもらう形がいいのではないかと私は思っています。

㉑委員長

E 委員は承諾されていますか。

㉒松澤専門主事

話してあります。

㉓委員長

前回の委員会でも話していただいたし、どういうものを作っていただけるかわかりませんが、お願いします。

㉔松澤専門主事

時期的には次の委員会のある 10 月までというのは厳しいと思うので、12 月あたりのところで叩き台みたいな形で出していただくということでどうでしょうか。

②⑤委員長

では、諮問1はそういうことでお願いしたいと思います。

諮問2は、1番重要というか、すごく難しいことなので勉強しながら固めていかなければいけないと思いますが、いかがでしょうか。

②⑥伏木副委員長

1年目の終わりに、我々の中間報告としてまとめを出しますので、例えば代田副委員長は、飯田市で教育長時代にこの辺りを具体的にやったことを踏まえて、それまでにある程度声を拾えたと仮定して、暫定的な叩き台を出していただくのが望ましくないですか。

②⑦松澤専門主事

私は、中間まとめのところで、代田副委員長の基調講演だとか研修・視察に行って、いろいろな方の声を聞きながら、岡庭委員長さんのところを取りまとめいただいた方がいいのではないかと思います。視察研修は、以前から行きたいというような話もあります。

②⑧委員長

提案はできますが、作り込むのは少し難しいかと思います。ですので、代田副委員長や伏木先生のお話も聞きながら、場合によっては教育委員会の方でも、制度上の問題とか財政上の問題など現状の分析があるので、委員長の職責の中で預らせていただいて、最終的に提案させていただくのはどうかと思います。最終的には中間まとめですが、そこまでに一度出させていただき、それをまた皆さんに揉んでいただく必要があると考えています。

②⑨A委員

スケジュール的な話になりますが、12月3日に案というか委員会で考えたことが出されると思うのですが、自分たちで協議するのはいつなのですか。

2月20日には、ほぼ中間方針が固まっているのですか。

③⑩委員長

中間答申ではなく中間まとめなので、本当にもう柔らかいもの、もう皆さんの意見がまだどんどん入る余地があるものだと思います。そうしないとスケジュール的に無理だと思います。

③⑪A委員

10月4日に委員会がありますが、委員が意見を言って、それをまた直して

いただいて、また協議するわけじゃないですか。それが2月20日までにしなきゃいけないことだとしたら、スケジュール的には足りないんじゃないかなと思います。今年度は、どこまで求められているのですかね。

③松澤専門主事

要項の10ページ、11ページにある今後の日程を見ると、会議10月4日、12月3日、2月20日の3回と多くありません。

ただ、本委員会が10月と2月の2回の予定でしたので、中間のまとめに向けた協議をするには、無理があるということが想定されます。中間まとめでは、それまでの議論の経過、到達点、こんな風になったらいいいというような現在のビジョンを盛り込むことが考えられます。こうした事情から、12月の小委員会を委員会に変更するように予定を組みました。

10月4日の委員会では、D委員に諮問に関わる内容や今までの意見をまとめて原案として提案していただきたいと思います。それと並行して、諮問の2に関わるところの、この前、伏木先生に講演いただいたような辺りのところをもうちょっと触れてもらい、お話をお聞きしたことを受けて、10月から11月にかけて視察をして、実際に諮問2に関わるところが多い場合は、1の学校と地域との関係性も含むと思うんですが、視察をさせてもらって、12月のところでは、先ほどE委員でということなんです。E委員に一応の原案を出してもらい、委員会の中で検討してもらって、また意見を合わせるっていうような、そんなやり方で具体的には考えています。意見交換をして、諮問2については、また中間まとめに出すような、いわゆる小委員会でやるような内容も、全体の方も見ておいて、2月には、諮問2の原案というように、1回1回で、1つつづぐらいのところを扱っていきたいと思います。

最終回になってしまいますが、2月20日の委員会でその2つの原案を出してもらい、中間まとめができるスケジュールで会議を進めていきたいと思います。

③伏木副委員長

私の希望を言わせていただくと、10月4日に課題について話すのはできる範囲でやりますが、私の専門の研究ではないので、実務経験のある代田副委員長の方が適切だと思うので、2人で話題提供するのがいいと思います。

10月4日は、諮問3について、到達点について整理をするということを出していただいて、それを全体会で審議するとそこで結論が出ないかもしれません。全員がその方向性を理解して、12月3日は、E委員から出された案に対して全員で議論して、結果は出ないかもしれないけれども、それについてみんなで共有する何かを出す。2月には、できれば諮問2について、10月4

日にまた代田副委員長が情報提供するとして、委員長扱いという話でしたけど、ここでみんなで議論できる叩き台の資料が出てきて全体会で揉むと。諮問に関して、ここはもう結論を出すということじゃなくて、みんなで議論する場なので、10月、12月、2月については一通り議論をしましたけどまとまらないかもしれないけどまとめて書いて、我々の議論の経緯を報告するのでよければ、無理がないと思います。

私の希望というのは、2月20日までに諮問1、2、3の検討委員会としての議論のダイジェスト版ができると思うので、そこまでの議論を地域に投げられないかなと思っているのです。私の希望は保育園ごとの相談会ですが、そこが難しければ、清内路だとか、いくつかの拠点に分けた会でいいです。そこに検討委員が分担して入って徹底的にヒアリングする会をする。2月20日の全体会の後、どこかの日を設けて同日開催でも分担しているわけだからいいと思うのです。そういう感じでやって、その報告は来年度の最初の全体会で確認する。それは、広報などで出してみる。それくらいの流れでも良ければ無理がないなと思います。当初の保育園の意見を聞くっていうところも、それぞれのところへ行って委員の方でも意見を聞いてくると。委員が分担して各現場で意見を聞くときに、委員会ではこういう議論になっていたのだということが言える。自分の考えが全体の意見と違っていいようなことは考えなくて、委員会ではこういうことを1年間で議論しました、ということと言える。共通のデータはそこで伝える。A委員、それでは遅いですか。もう少し早いほうがいいですか。

③④A委員

その間に、クラウド上で意見を聞くことをやっているわけだから、良いと思います。住民の声を聞くことはもちろん1番大事なのでいいのですが、自分がこれはどうなのって聞かれた時にちゃんと答えられる自信がないので、そこまでちゃんと議論した後に意見を聞く会を開く方が、私としても自信を持って皆さんにお伝えできることがあると思います。

③⑤委員長

B委員、C委員もよろしいですか。(了承)

そして、D委員に叩き台を作っていただくことでよろしいですか。

③⑥D委員

諮問3についてですね。

③⑦委員長

先生、10月4日に案を出してもらうことで決まってしまいましたが、とにかく、地域のことではなくて、もう全国的な教育の流れですよ、ということをおっしゃっていただいて、それについて我々が考えている課題なので、雑駁な言い方で恐縮ですが原々案を作っていただいて、それを我々が確認したいということによろしいですか。

③⑧D委員

根拠となるのは、皆さんからのアンケートとか、中学生のアンケートとかということによろしいですね。

③⑨松澤専門主事

流れはこれで良いですかね。中間のまとめは、それまで議論いただいたことということですね。

④⑩委員長

やはり報告会は大事で、それは我々の主体であるっていうことを自覚するための報告会でもあると思いますので、我々が報告します。

④⑪松澤専門主事

委員会の日程については ご了承いただいたということで、繰り返しになりますが、12月は委員会として全員が集まることになります。これは小委員の皆さんにも通知をします。

④⑫委員長

はい、ありがとうございます。ローリング方式で1年回して2年目に繋がりますので、このプロセスがすごく大事だと思います。では、協議のまとめをお願いします。

(5) 協議のまとめ

①伏木副委員長

今日の議論を整理して確認をしたいと思います。

全村フォーラムの反省では、76人が参加して、分散会には58人が参加したけれども、子育て家庭は8名、中学生6名が参加でき、高校生は残念ながら文化祭の関係で参加できなかったという報告がありました。

個人的な意見を言う場がなかったのではないかという声もあったので、そういう声をも吸収しましょうということに合意を得られたと思います。

8つの分散会について、諮問3に関わることですけれども、これは、統計を取ると4番、5番、10番、すなわち自分で考える力とか自己決定する、あるいは異なる考えを認め合う多様性の問題がトップ3でした。この辺りを強調しつつ、D委員に原案を作っていただこうと決まりました。

諮問1についてはE委員に案を作ってきていただくということになりました。

それと同時に、住民の声を聞く会を増やそうという話題が出て、とにかくそこには検討委員が分担して、それぞれ聞く主体になってヒアリングをしてこようということで、その具体的なやり方については、いろんな事情があるので検討していただくということになりました。パイロット的にどこか1箇所でやって、その様子を見ながら会を開催するという案も委員長から提案がありました。

また、それと関連しますが、8月23日にPTA懇談会が行われるけれども、これはこれで大事にしたい。今度はここでアンケートをちゃんと取っていただき、そのアンケートの中には日程、開始時刻、場所も含めて意見を聞く内容も入れてほしいとの意見がでました。

他にも大事な点が提案されて、今日のような小委員会についての議事録を簡単な内容でいいと思うのですが、これは全検討委員に郵送なりメールなりで事前配布をしてほしいということも確認されました。教育委員会事務局の仕事を増やして恐縮ですけれども、これはぜひお願いしたいということです。

私たちの方から、ネット上でパドレットとかgoogle フォームとかいろんな検討をしていただき、ネット上で意見を参照できるような、そういうクラウド上の仕組みができないかという考えが出されました。いろんな方針にもあると思いますが、可能な限り個人名が出ないまでも、委員なのか保護者なのか、高校生以下の子どもなのか、地域住民なのかのように、カテゴリー分けでもいいので、それぞれの立場の人がどんなつぶやきを持っているのかみんなが参照できるものを作れないだろうかということでした。ぜひやってもらいたいと思います。そういうことに慣れていない方や技術的にあるいは環境的に無理な方もおられることはもちろん承知していますが、そういうものを作っていくということが、村の将来のプラスになっていくとのことでした。

また、ネット上の環境がない方はオフラインで検討委員の誰かに呟いていただき、そういう声を委員が代理であげてもいいということです。そういう仕組みをこの1年が終わるまでの間にできるといいなということでした。

それから、最後の諮問については委員長預かりという形で、とりあえず置いておいて、皆さんの意見を聞いた上で原案をなんとか考えてみて、それは2月の最終回に叩き台が出せるように、小委員会でもチャンスを作ってもらえるのではないかと思いますので、そういった形にしたいなという意見がでたと

いうことでよろしかったでしょうか。

②松澤専門主事

パドレットは、まだ開いてあるので、まだの方は意見の登録をお願いします。紙に書いてもらってもいいですけど。

③A委員

8月23日の懇談会がありますということを全員に周知してください。
今日の小委員会の議事録、ダイジェスト版と一緒にでもいいです。

④松澤専門主事

今日の委員会で、日程の変更がありましたので、綴じてある要項をそのままお送りして、その中に8月23日の案内もありますし、10月4日のこの委員会の計画もありますので、これだけ皆さんに送るということでもいいですか。議事録の方は、また別にできたところを出します。

⑤委員長

8月23日の懇談会での委員の参加、役割はありますか。

⑥松澤専門主事

会場に来ていただいて、参加者の意見を聞き取っていただければありがたいと思います。

⑦松澤専門主事

研修視察の件ですが、視察先としてふさわしい学校の希望があればだしていただければと思います。

⑧伏木副委員長

現実にマイクロバスで行くとしたら、県内でなければいけないですね。阿智村が目指したいと思うようなところはまだできてない。ここ阿智村がもしかしたらみんなのモデルになるかもしれない。信濃町の小中学校とか、あの第2号の義務教育学校になった大町的美麻小中学校、地域で作って、大学院生を連れて行っても、1回見てわかるかわからないですから、いろんな現場を見ないと。コミュニティスクールの運営協議会の現場を見たり、子どもと地域の人に関わっているその場を見たりとかしないと。学校行ったらなんかわかるわけではないですよ。なので、教育委員会の負担や、委員が時間を合わせてみんなでこう出かけていくというこの費用対効果というか、かなり難

しいと思います。そんなバラ色の学校はそんなにない。だったら、そのハイライトでメディアが入ったような学校とか、そのダイジェスト版でその学校の良さを描いたようなドキュメンタリーをみんなで流して見るとか、これだとみんな負担はないし、校長先生が参加できるし、それは私も簡単。行くなったら相当遠いところまで行くという覚悟でできない限りは、現実的に日帰りでちょっと戻ってこられるところでしかないわけだから、そんなに簡単にノウハウを吸収できるわけではないので、我々研究者、何十回も行っているんです。

⑨A委員

次回 10 月 4 日の委員会は、公開でいいのですか。

⑩委員長

いかがですか。(同意)

では、公開でよろしくをお願いします。

5 連絡 (松澤 徹専門主事)

- (1) 学校のあり方 P T A (保護者) 懇談会について

8 月 23 日 (金) 18:00~20:00 コミュニティ館 2 階ホール

- (2) 視察研修について

- (3) 第 3 回学校のあり方検討委員会 10 月 4 日 (金) 16:00~18:00

コミュニティ館 2 階ホール

6 閉会

○松澤 徹 専門主事

以上で、第 2 回学校のあり方小委員会を終わります。

(閉会 午後 6 時 16 分)

教育長・委員長 署名／捺印